

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成28年8月12日 (2016.8.12)

【公開番号】特開2015-81365(P2015-81365A)

【公開日】平成27年4月27日 (2015.4.27)

【年通号数】公開・登録公報2015-028

【出願番号】特願2013-219115(P2013-219115)

【国際特許分類】

C 2 3 C 14/22 (2006.01)

C 2 3 C 14/00 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 5 B 33/10 (2006.01)

【F I】

C 2 3 C 14/22 F

C 2 3 C 14/00 B

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/10

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月27日 (2016.6.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

気化された成膜材料を噴出することができる蒸着源と、
噴出された前記成膜材料が堆積する位置に被成膜体を保持する保持機構と、
前記成膜材料が堆積する前記位置にエネルギーを照射する照射源と、
前記蒸着源および前記保持機構が配設された成膜室と、
前記成膜室を排気する排気機構と、を有する成膜装置。

【請求項 2】

前記照射源は、10 eV 以上 100 eV 以下のイオンを照射する、請求項 1 記載の成膜装置。

【請求項 3】

前記成膜材料は、有機化合物を含み、
前記照射源は、波長が 180 nm 以上 760 nm 以下の光を照射し且つ前記成膜室の外側に配置され、
前記成膜室は、前記照射源が射出する光を透過する窓を備える、請求項 1 記載の成膜装置。

【請求項 4】

成膜材料が準備された蒸着源が配設された成膜室を所定の圧力に減圧する第 1 のステップと、

気化された前記成膜材料が所定の速度で前記蒸着源から噴出するように前記成膜材料を加熱する第 2 のステップと、

前記成膜材料が堆積する位置に保持機構を用いて被成膜体を配置して、照射源を用いて前記成膜材料が堆積する位置にエネルギーを照射しながら、前記成膜材料を成膜する第 3 のステップと、を有する、成膜方法。

【請求項 5】

有機化合物を含む成膜材料が準備された蒸着源が配設された成膜室を所定の圧力に減圧する第 1 のステップと、

気化された有機化合物が所定の速度で前記蒸着源から噴出するように前記成膜材料を加熱する第 2 のステップと、

前記成膜材料が堆積する位置に保持機構を用いて被成膜体を配置して、照射源を用いて前記成膜材料が堆積する前記位置に波長が 1 8 0 n m 以上 7 6 0 n m 以下の光を照射しながら、前記成膜材料を第 3 のステップと、を有する、成膜方法。

【請求項 6】

成膜材料が付着したシャドーマスクを備える成膜室を所定の圧力に減圧する第 1 のステップと、

前記シャドーマスクに付着した成膜材料にエネルギーを照射して前記成膜材料を除去する第 2 のステップと、を有する、成膜材料の除去方法。